

～子ども支援者養成講座～  
 子どもの心を受け止める子ども専用電話  
 チャイルドライン MIE 『受け手養成のための講習会』

チャイルドラインは、指示しない・指導しない・傾聴することで、かけ手である子どもがエンパワーメントすることを支援する電話です。実施拠点は三重県内7ヶ所あります。あなたも講習会に参加して、受け手ボランティアをしてみませんか。

尚、子ども支援に関わる方にも、おすすめの講座です。支援者養成・資質向上研修に活用していただけます。子どもの権利を保障し、子どもが豊かに育つ地域づくりに興味のある方は、ぜひご参加ください。

<日程>

6/12 (日)・6/18 (土)・6/19 (日)  
 6/26 (日)・7/2 (土)・7/3 (日)

<会場>

6/12 (日) アスト津3Fイベント情報コーナー  
 6/18 (土)～7/3 (日) 三重県津庁舎

<講座内容>

「チャイルドラインとは」をはじめ、子どもの権利、性について、いじめと不登校、依存症からの回復など盛りだくさんの内容になっています。詳しくはちらしをご覧ください、(特)松阪子どもNPOセンターまでお申し込みください。

子どものためのシェイクスピア「オセロー」

今年も子どものためのシェイクスピアをお楽しみください。

月日 8月6日(土) 17:30 開演  
 場所 三重県総合文化センター  
 あらすじ



ベニスの将軍でムーア人のオセローは、奸臣(かんしん)イアーゴの計略にかかり、最愛の妻デズデモナの貞節を疑って殺してしまうが、真実が明らかになり自殺してしまう。

●チャイルドラインMIE

(きいてほしいな・・・)  
 子どもの心を受け止める  
 18歳までの子ども専用電話  
**0120-99-7777**  
 毎週 月曜日～土曜日  
 午後4:00～午後9:00



●こどもほっとダイヤル

(助けて！が言える)  
 子どもだけが相談できる  
 18歳未満の子どものための相談電話  
**0800-200-2555**  
 毎日 午後1:00～午後9:00  
 (12月29日～1月3日はお休み)

子どもの権利と社会的子育て Vol.4

2月11日三重県医師会館にて平成27年度恵春期保健指導セミナーがありました。産婦人科医・三重県・三重県教育委員会・三重県警・チャイルドラインMIEの各現場からの報告の後、「若年者の望まない妊娠・出産ゼロを目指す」についてディスカッションがありました。

チャイルドラインMIEの「子ども支援の現場から見える子どもへの性虐待」から、虐待の中でも性虐待は特に見つけないもので、それは加害者が親・親戚・先生・コーチ・近所の人といった子どもの身近な人であるからで、さらに、子どもが虐待されていることをわからなかったり、自分が悪いからされたり、家庭に波風を立てないために黙ってがまんしていることが多く、発見が遅れた分だけ子どもの心の傷は深くなるため、子どもの様子がいつもとは違うことをキャッチすることが大変重要です。

また、性虐待というと体を触ったり触らせたり、性行為を強要することと思いがちですが、それらに加え、性器や性行為、アダルトビデオを子どもに見せることも性虐待です。小さいからわからないだろうというのは大人側の勝手な言い訳で、子どもがそのような環境にさらされることが虐待であり、子どもをひとりの個人として尊重していない権利侵害なのです。大人側に性の認識の甘さを感じます。

子どもたちに、一人ひとりの命が大切であるという人権からの性教育と、性の正しい知識を伝える科学的な性教育の必要性を痛感しました。



Spring NO.193

2016年 4月 1日

発行元：特定非営利活動法人  
 松阪子どもNPOセンター

子どもたちがのびやかで豊かな「子ども時代」をすごすために

チャイルドラインチャリティ映画会「うまれるずっと、いっしょ。」

1月22日(金)農業屋コミュニティ文化センターにおいて、5回目を迎えるチャイルドラインチャリティ映画会が行われました。

3回の上映時間を設け、延べ487人の方の参加がありました。事務所が日野町の中心地に移転し、商店街とつながりができ、沢山のポスターを貼ることができたり、民生委員や介護施設の職員の方にはこの映画を研修の位置づけとして動いたことで、当日の参加につながりました。あわせて、バリアフリー映画として提供したことで、より参加しやすかったのではないかと思います。午前の上映時間には託児を行い、午前と午後の上映時間にはママさんタイムとして、未就学の子どもと一緒に入場できるようにしたので、多くの子ども連れの方の参加がありました。

この映画は、3つの家族を追ったドキュメンタリー映画で、いのち・家族・生きること・幸せについて考えさせられる作品です。観た方からは、『涙が溢れる素敵な映画でした。』『家族について考えさせられました。』『当たり前の日常に感謝し、家族を大切にしたいと思いました。』『生きるってことを大事

にしないといけないと思った。』などなど、沢山の感想がありました。この映画をきっかけに「命の大切さ」「家族の絆の大切さ」を考える機会となったと思います。

映画会を通じ、地域の中で子どもを支援する人を増やし、子どもと大人が安心して豊かに育ち合う社会をつくっていきたいと思います。



トーク会

1月24日(日)13時30分から松阪市市民活動センターで参加者10名で行われたトーク会は、映画の感想を出し合いました。同じ映画を見てあまり時間もたっていなかったこともありホットな気持ちのまま、自分の気持ちが3家族のどこに重なったかなどを、素直にだせたトーク会になりました。そのなかでも、ありのままを受け入れることで、子どもと大人が対等に話し合っている姿が印象に残ったとの声が多くありました。この映画を通して、自分たちが生まれてきた意味や、家族の絆、命の大切さを改めて思いました。

【上記のお問い合わせ・お申し込み先】

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター TEL0598-20-8344 FAX0598-20-8345

くわしくはホームページで！ →

●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円  
 ※入会金：300円

2月末会員数 正会員：30名 参加会員：6名 支援会員：92名 賛助団体会員：25団体

【賛助団体会員】			
医療法人 イワサ小児科	医療法人 桜木記念病院	東海印刷株式会社	松阪市健康体連連絡協議会
うれしの 太田クリニック	ささおこどもクリニック	東海シール株式会社	まんのう整形外科
大久保クリニック	株式会社 ジェントリー	ナガフジ産業有限会社	医療法人 南産婦人科
おおたクリニック	上瀬クリニック	はせがわこどもクリニック	医療法人社団 鷺尾小児科
岡田パッケージ株式会社	医療法人 たるみ内科胃腸科	健康体操 ひまわり会	他一団体
医療法人 河合産婦人科	医療法人 地主矯正歯科クリニック	株式会社 富士土地	
	鎮守の森を夢見る会・その二	株式会社 フレンズ	
		ミスタードーナツ・松燈庵	

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月～金10:00～17:00)

TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpj.jp/> eメール [info@mknpj.jp](mailto:info@mknpj.jp)



## 子どもにとって 遊びとは



### まるごとになんじゃ

今の子どもたちは、遊ぶ場所は制限され、塾や習い事など時間に追われながら日々の生活を送っています。その上、大人の価値観でできる子、いい子を求められ、それに応えようとします。周りの大人からありのままを受けとめられないとそのままの自分でいいと思えず、自信もなく、心が不安なままで自己肯定感が低くなっています。

(特) 松阪子どもNPOセンターは、子ども一人ひとりを尊重し、子どもが持っている力を信じ、子どもを主体とした地域社会をめざしています。

大人にとって遊びは、気分転換であったり、友だちとの交流を深めることであったりしますが、子どもにとっての遊びは生活そのものです。毎日の生活の中で、わくわく、ドキドキ、ハラハラし、あそびの中から様々な体験をして、発見し学んでいきます。危険予知能力・コミュニケーション力・相手を思いやる力・失敗を乗り越えていく力など子どもが育つ土台となっています。それには、大人が、日頃の生活の中で心ゆくまで十分遊べる時間、せかさな生活を保証することが大切です。大人も子どもとあそび合うことで、自分たちも失敗しそこから学ぶことや、子どもたちの持っている力に気づくことができます。

遊ぶ時、気持ちは自然と動きます。『こうしてみたらどうかな?』『あ、いいこと思いついた!』『それいいね~!』その気持ちが大切です。その動き出した気持ちをキャッチし、大人のあそび心をよびおこし、空想の世界と現実の世界を行ったり来たりしながらあそぶ子どもたちに共感できる大人を増やしていきたいと思えます。

10月に[子どもの時間を共に生きる]と題して、「子どもが主体」ととらえ遊び合うことの大切さを、NPO法人あそび環境Museum アフタフ・バーバンの代表の北島尚志さんに、講演していただきました。

12月に「親子で遊ぼう!まるごとになんじゃ」に取り組みました。当日は松阪公民館で、3~5歳の12組の親子の参加がありました。まずは「見る」「聞く」岩や地蔵になりきって「隠れる」などの修行をしました。子どもの「くさかった」の言葉から「におう」修行も加わりました。修行を重ねるうちに子どもたちは、自分なりのおもしろさを見つけ、大人たちもどんどん夢中になっていきました。最後は、黒忍者にみつからないよう、館内に隠された巻物をチームに分かれて探しました。黒忍者に見つかりそうになって慌てて地蔵や石になったりして、大人も子どももドキドキ、ハラハラ。無事に一人も捕まることなく巻物を手に入れることができました。

参加した子どもたちは「ちょっと怖かったけどおもしろかった」「うまく隠れて見つからなくてよかった」「お母さんと遊べて嬉しかった」などと話していました。保護者の方からは「久しぶりに遊んだ!」「子どもと同じあそびを共有することで、感想を言い合ったりして気持ちも共有できた」などの感想がありました。

夢中で遊んでいる間にいつのまにかどうしていこうと話合っていてイメージを膨らませ、遊びが展開していくのを目の当たりにし、子どもの内に秘めた力ってすごいなと感じました。



岩になる修行中!!

### ゆきあそびツアー

松阪は、雪はあまり降らないので、ゆきあそびはなかなかできません。親子で雪に触れて遊ぶ体験を提供したいと始めたこのツアーも14年目になり、今年度は、2月6日(土)に奥伊吹スキー場に行きました。

当日は天候にも恵まれ、14組の親子連れ38名の方々の参加がありました。毎年参加している方や、ゆきあそびは初めてと話すお母さんもいました。朝早くの集合にも関わらず、子どもたちの表情からはワクワク感が溢れ出ていました。

スキー場に近づくと、道路脇に積もっている雪を見つけ、『見て!雪や!!』とバスの車内も賑やかになっていきました。スキー場に到着すると、それぞれがスキーを楽しんだり、そり遊びをしたりして、思い思いに楽しんでいました。その中で、かまくら作りを楽しむ親子連れがいました。かまくらが壊れないように話し合いながら、工夫して作っている姿がありました。大人も子どもも、自然の中で思いきり遊び、同じ時間を共有し、楽しい思い出が作れたように思います。



## 28年度 あそび・体験スケジュール

7月24日(日)

\*NPO 法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン代表 北島尚志さん講演会

8月6日(土) 17:30開演

\*子どものためのシェイクスピア『オセロー』 三重県総合文化センターにて行われる舞台観賞です。

9月

\*大人のための表現ワークショップ

10月15日(土)

\*忍者 闇をあそぶ 夜の街を舞台にして忍者になって遊びます。

16日(日)

\*忍者 まちをはしる 日中の商店街を舞台にして忍者になって遊びます。



2月4日(土)

\*ゆきあそびツアー 親子で奥伊吹スキー場へゆきあそびに行くバスツアーです。

(特) 松阪子どもNPOセンターでは、今後も子どもたちが、思いきり遊ぶ体験の場を提供していきます。